

平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基 本 目 標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち
政 策 目 標 5 「宮島」を中心として、多くの人が訪れるまちに
重 点 的 取 組 3 観光資源をネットワーク化する

担当課名	環境産業部 観光課
予算科目	会計 01 一般会計 款 06 商工費 項 01 商工費 目 03 観光費

事業名	観光資源ネットワーク化事業	事業開始年度	平成 25 年度
	観光振興基本計画策定	根拠法令 条例 個別計画 等	-

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	国内外からの観光客 市民	○本市に世界遺産「宮島」を中心として多くの人が訪れるようになる。 ○戦略的かつ効果的な観光政策を体系的に推進することで地域の活性化や雇用の拡大など地域への波及効果が生じる。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	観光関係団体 市民	○本市の観光政策に関する情報収集、現状把握、分析 ○策定のための会議等の設置と運営 ○基本計画策定とその計画を推進する体制の構築

3 平成 25 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容

○（仮）廿日市市観光振興基本計画策定（H25新規）
廿日市市産業構造調査や観光ギャップ調査等の分析結果をベースに、今後の本市の観光振興の基本方針となる観光振興基本計画を、市内の観光関係者等と協働で策定する。なお、策定期間は平成25年度から平成26年度の二か年。

【歳出】

会議報償費（学識）@7,000×3人×4回84千円

費用弁償（学識・県内）@500×2人×4回4千円

費用弁償（学識・県外）@12,120×1人×4回49千円

計画策定業務委託料3,000千円

コスト情報（円）

項目		平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	平成 25 年度予算	備考
財源内訳	直接事業費 A	6,260	156,000	3,137,000	
	国庫支出金				
	県支出金				
	借入金（市債）				
	その他(使用料など)				
	市（市税など）	6,260	156,000	3,137,000	
人件費（按分）B		0.10 人 884,900	0.10 人 885,700	0.50 人 4,376,000	
総事業費 (A+B)		891,160	1,041,700	7,513,000	
単位換算	①人口（4月1日現在）	118,353 人	118,353 人	118,000 人	
	市民1人当たり	8	9	64	
	②H23市の総観光客数	5,993,041 人	5,730,000 人	5,993,041 人	
		0	0	1	

到達目標

活動及び成果指標		単位	H 23 実績値	H 24 目標値	H 25 目標値	H 27 目標値	備考
活動成果	会議開催		2	6			
	※H23は大河事業の推移協議会を運営						
	市の総観光客数	万人	3	573	570	600	